

23期連続増収

ドラッグストア
好調、3月期最高

バローホールディングス
が10日発表した2018年
3月期連結決算は、ドラッ
グストア(DS)事業が好
調に推移し、売上高に当た
る営業収益は前期比4・5
%増の5440億2000
万円で過去最高を更新し
た。増収は23期連続。営業、

経常、純利益はスーパーマ
ーケット(SM)事業など
で既存店の改装費などがか
さみ、いずれも減益となっ
た。
SM事業は、他店舗との
競争の激化で既存店売上高
は1・6%減。28店舗を改
装するなど集客力を強化し

たほか、公正屋の子会社化
が寄与し、全体の営業収益
は2・8%増の3459億

6000万円だった。

DS事業では、調剤や化
粧品の販売が好調に推移。
一部店舗に導入した食品部

門も売り上げが伸び、営業
収益は10・2%増の117
9億4900万円だった。

損益面では、ホームセン
ター事業で大規模改装が続
き、経費率が悪化。SMの
一部店舗の収益悪化による

固定資産の減損損失が響
き、純利益は2期連続で減
益となった。

19年3月期は、SM6店
舗、DS24店舗、スポーツ
クラブ50店舗など計81店舗
の出店を計画。SM、DS
の30〜40店舗を順次改装
し、営業収益は2・9%増
の5600億円を見込む。